

2021年インフルエンザワクチンに関して (2021/9/1 告知)

当院で接種させて頂く方 **定期通院中の患者様と家族の方 (13歳以上)**

回数 1回 0.5mL を1回接種

費用 3000円 (税込) (補助のある方は、金額、持参物を各市町村に確認をお願いします)

- ① 「11 or 12月の定期受診時に受たい人」 **予約不要ですが先着500名です**
当日、受付時に申し出てください (事前に問診票を記入して頂けるとスムーズです)
ただし、付き添いの家族は1名まで
- ② 「先着順だと間に合うか不安、早く打ちたい、複数家族が打ちたい人」 **要予約 (電話でも可)**
11/5(金) 11/12(金) それぞれ12名まで
14:30~ ワクチンのみの受診 (通常診察、薬の処方はできません。)

受けてはいけない人は?

- ① 当日体温が37.5度以上ある人
- ② 他の予防接種でアナフィラキシーを起こしたことがある人
- ③ インフルエンザワクチン後2日以内に、発熱、全身性の発疹やじんましん等のアレルギー症を疑う症状が出たことがある人

他のワクチンとの間隔は?

「インフルエンザワクチン」と「ほとんどのワクチン」は連日でも可能になりましたが、例外はコロナワクチンです。インフルエンザワクチンとコロナワクチンは2週間あける必要があります。

いつ打つのが良いの?

予防接種後2週間程度で効果がでると言われています。インフルエンザの流行のピークは毎年12月~3月で予防接種の効果は、大体4~5カ月間と言われています。よって毎年11~12月に予防接種を受けておくのがよいでしょう。

そもそも打ったほうが良いの?効果あるの?

インフルエンザが重症化しやすい糖尿病などの病気をお持ちの方は毎年の接種が勧められています。一般的には感染予防効果は60%、重症化予防効果は80%と言われています。

インフルエンザの予防接種をしていない場合	インフルエンザの予防接種をしている場合
予防接種をしている場合に比べてインフルエンザにかかりやすい	予防接種をしていない場合に比べて発症リスクを60%程度低減する
高熱、悪寒、頭痛、関節痛などの辛いインフルエンザ症状に苦しむ	予防接種をしていない場合に比べて症状が重症化しないで済むことが多い
インフルエンザで入院したり、死亡することもある	インフルエンザによる入院や死亡リスクを80%程度低減する
家族や職場、学校での集団生活で大流行がしばしば問題になる	家族や職場、学校で他の人への二次感染を予防することが期待される

インフルエンザワクチンはインフルエンザの発症を100%予防するものではありません。インフルエンザワクチンの主な効果は重症化予防です。また、発症リスクの低減、合併症リスクの低減、入院や死亡リスクの低減、二次感染の拡大予防などが期待されています。

